

| | | |
|--|-------------|--|
| <p>3. 国際交流のあり方について</p> <p>神戸市では、姉妹都市・友好都市・親善協力都市はたくさんあるが、「国」を相手にした交流も考えるべきである。</p> <p>神戸市内の企業OBの中には、高い技術を持った優秀な人材も多くいると思われ、そうした人材をいろいろな「国」に派遣することで効果的な支援を行うようなことを考えて欲しい。そういった国に対する国際貢献までを視野に入れた新たな国際交流を進めていくべきと考えるがどうか。</p> <p>また、昨日の教育委員会事務局の決算特別委員会でも発言したが、神戸市内には外国人が多く往住し、外国人学校もあるが、市内の学校の子供たちが外国人学校の子供たちと交流できるようなことを考えていただきたいと思うがどうか。</p> | <p>大森局長</p> | <p>国との交流はレベルの違いもあり難しい面もあるが、神戸は国際都市を標榜しており、単に友好姉妹都市ではなく国を見た国際協力の分野が重要と考える。</p> <p>直接国ということではないが、アジアの発展途上国の中規模9都市と独自の相互協力ネットワークを構築している。これは神戸市と国連人目基金で設立した神戸アジア部面時報センターと網神戸国際協力交流センターが一緒になって、ネットワークを構築して、それぞれの問題の解決するために取り組んでいる。</p> <p>また、国際協力機構（JTCA）行政官等の研修を受託するなどの国際貢献を行っている。</p> <p>また、企業OB等の国際協力分野での人材の活用については、平成20年度より、州神戸国際協力交流センターが、市内在性で開発途上国の抱える都市の諸問題の解決に対する専門的知識及び技術を有する企業退職者を対象にボランティアを募集し、開発途上国に対し専門家ボランティアを派遣する事業も開始した。</p> <p>これは開始したばかりであり、本年2月に、まず現地調査員を派遣し、その調査結果に基づき、4月、7月、8月に延べ13名を派遣したところである。こうしたところで、国際協力という観点からも力を入れている。</p> <p>また、外国人学校との交流については、市内にある外国人学校と小中学校・高等学校との生徒間交流については、近隣という条件の中ではあるが学校との間での定例的文化行事や、卸活動での交流、文化祭等のイベント、などでの交流が行われている。また市民参画推進局では、青少年国際交流キャンプなどが行われしあわせの材でキャンプを行うなどしている。</p> <p>また、教育委員会では、国際理解教育を推進するために、6月から夏休みに入る外国人学校</p> |
|--|-------------|--|

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>の生徒を日本の学校に1～2週間の体験入学をさせるような制度もあると開いている。</p> <p>今後も、教育委員会等とも連携しながら、外国人学校に対して、学校行事などを通じて市内の小中学校・高校や地域との交流を進めるよう、呼びかけてまいりたい。</p> |
|--|--|--|